

	<h1>日台稲門会</h1> <p>NEWS LETTER 第12号</p>	<p>平成 19 年(2007 年) 民国 97 年</p> <p>9 月 2 日 発行</p> <p>発行 日台稲門会事務局 編集 白鳥・石川・小野間・齋藤</p>
---	--	---

今年は残暑が長くまた厳しいようですが、会員の皆様におかれましては元気で秋をお迎えのことと存じます。さて、日台稲門会ニュースレター 2007 年夏号をお届けします。

日台稲門会・台湾校友会NEWS

第 11 回日台稲門会定期総会・第 8 回日台交流の集い 盛大に開催される

(4月21日(土)15:00～総会及び記念講演会:大隈会館301号室
日台交流の集い:大隈会館201号室)

今回は会場を内幸町から母校へ移動しました。また従来は「日台稲門交流の集い」と謳っておりましたが、今後は早稲田も含め日本と台湾との関係を深める、という願いから、「日台交流の集い」と改めました。

平成 19 年度日台稲門会定期総会、記念講演会及び日台交流の集いが 4 月 21 日(土) 大隈会館にて開催された。

第一部 定期総会:(301号室)

- 前年度の活動報告、決算報告、今年度の活動計画案、予算案、会長選任、新役員承認の 6 つの案件が審議され、全て原案通り決議された。

第二部 記念講演会:(301号室)

- 台北駐日経済文化代表処代表夫人で児童文学者の許千恵女史より「私の台湾児童文学」と題してご講演を頂いた。優しい語り口で実体験を交えながらの講演には目頭を押さえる聴衆も散見され、出席者 100 名を越える大盛況だった。

第三部 日台交流の集い:(201号室)

- 司会を神田幹事と、お馴染みの丸山幹事に代わり令嬢の香おりさんのコンビで開幕した。白鳥会長の開会挨拶、来賓祝辞、125 周年記念事業の寄付金贈呈の後、許世楷・台北駐日経済文化代表処代表のご発声による乾杯を合図に開宴となった。来賓を中心に歓談の輪が広がり、出席の校友、会員、留学生が次々に登壇、正に日



許世楷代表のご挨拶

台交流の集いに相応しい交歓が続いた。最後に全員で校歌を斉唱し、石川副会長の閉会挨拶をもって終了した。

(事務局記)

出席者(順不同、敬称略)

【来賓】江夏健一・早稲田大学副総長(台湾研究所々長) 桜井直子・同募金課長、許世楷・台北駐日経済文化代表処代表、許千恵・同代表夫人、羅坤燦・代表処副代表、李世昌・代表処文化部長、代表処随員、羅福全・亜東関係協会々長、黃輝慶・同会長随員

【稲門】謝南強・台湾校友会前会長、董炯熙・同会々長、陳光敏・同会常任理事(前幹事長) 渡邊義典・同会幹事長代理、高橋徹・台北稲門会々長、手塚善雄・千代田稲門会々長、能登八郎・行政書士稲門会々長、山下政行・同会副会長、平野政則・同会副会長、酒井健爾・同会々員、奥山雅洋・同会々員、早速完(練馬稲門会) 近藤和夫(茅ヶ崎稲門会)

【一般】小田浩(李登輝友の会・茨城) 元松至人(許夫人同級生) 元松佳子(同) 小林忠雍(元松氏友人) 藤原慶子(台湾友愛会) 鴫田一夫(藤原氏友人) 相田一人・相田みつを美術館々長、成田信勝・同部長、丸山香おり、梶岡和夫、林靖宜、謝(台湾新聞社記者)

【フォルモサ婦人会】葉素金、徐幼麴、陳静宜、呂郁菜、陳玉珍、羅玉華、張懿文、吳嘉惠、許美雪、王秋蓮、三橋静子、杉山文代、陳貞卿、陳幸兒、簡淑循

【留学生】徐睿宏他 9 名

【会員】一色徹、石川公弘、井村晃也、上野晃司、大嶋武、大庭基臣、小曾根将隆、小野間恒夫、川村淳一、神田正治、北村友雄、栗山威郎、黒田正信、江正殷、越谷重友、小林重雄、近藤良三郎、齋藤晃、坂井俊一、佐藤喬、白鳥和夫、関口恒雄、高橋正和、寺田修、西川潤、西脇久夫、藤井素介、眞鍋藤正、丸山弘子、村上克男、守屋寧夫、吉本正明、藍進明、渡邊光治 以上 100 名

許千恵・駐日代表夫人、台湾の児童文学について講演

台北駐日経済文化代表処の許世楷・駐日代表の夫人である許千恵氏が4月21日、東京の早稲田大学で開催された「第11回台日稲門会」において「私の台湾児童文学」というテーマで講演した。



講演する許千恵・代表夫人

許・駐日代表夫人は「明朝の鄭經（鄭成功の長子）が諮議参軍の陳永華（鄭成功の腹心）の提案を受け入れ台南に孔子廟を立てた後、

台湾はこのときから儒教の影響を受けるようになった。当時の教育はそのほとんどが「書房（私塾）」で字の書き方、人としての道理、唐詩等の内容を子どもたちに教えていた。しかしこれはすべて大人の観点から出発したものだった。私が日本に留学していた時に19世紀の西欧の詩人が書いた子ども向けの詩に出会い、そよ風が春の香りを運び子どもの足元で咲いているスマイルの花が戯れるような雰囲気がかかれており、これこそ本当の童話だと感じ、両親から教わった唐詩より読んでずっと幸福感を感じた。このようなイギリスのマザーグースの童話や物語などの内容こそが子どもにとって大切な本であり、英国の国宝のようなものである」と語った。

さらに許・駐日代表夫人は、「台湾にも『西北雨』や『火金姑』等の童謡があり、童心や大自然に対する思いに満ちあふれている。しかし、これらの伝統文化はほとんど外国から来た童謡や童話の影響で次第に歌われたり読まれなくなった。第二次大戦後、

日本の児童文学は人と平和やその成果を味わうことを描いたものが多かった。しかし、この同時期に中国大陆では国共内戦がし烈となり、台湾に軍国主義体制がもたらされ、それは1987年の戒厳令解除まで続き、台湾は文化の砂漠だった。軍国主義体制化で子どもたちが教えられた歌の多くはあだ討ち、敵を殺す、大陸反攻等の歌だった」と台湾の当時の様子を説明した。



参加者とともに静聴する許代表

許・駐日代表夫人が日本のお茶の水女子大学で書いた論文は台湾の童話を扱ったもので、指導教授からは「この物語は興味性を持ち、教育的、普遍的等の要素が備わっており、台湾には一級の民間物語文学がある」とほめられたと回想した。

台湾は1992年から民主化の道を歩み始め、許・駐日代表夫人は30年ぶりに台湾へ戻った。許・駐日代表夫人は「台湾の書店で見た児童文学の多くが外国の翻訳書で、日本の児童文学がその多くを占めており、その次が米国だった。しかし、現在では幸いなことに台湾では原住民も含めた優秀な人材が、自分たちの生まれ育った土地の物語や童謡を出発点とした児童文学を書くようになってきた」と台湾の児童文学の将来に期待をした。

《2007年4月25日》台湾週報 より転載

（台北駐日経済文化代表処承認済み）

許駐日代表夫人を「盧千恵」とお呼びするのが一般的ですがここでは敢えて「許千恵」と表記しました

許千恵（盧千恵） 1936（昭和11年）：台中市にて生まれる 1945：終戦時小2 1955：台中第一女子高校卒業後、試験に合格し日本留学 1956：国際基督教大学学（ICU）入学 1960：同大学人文科学科卒業、同大学助手となる 1961：早稲田大学留学中の許世楷氏と結婚 1962：お茶の水女子大学文教育学専攻科入学 1963：同大学卒業 1968：政治犯救援活動をはじめ 2004（7月5日）：夫君・許世楷駐日代表に伴い台北駐日経済文化代表処に赴任 2005：在米台湾人人権協会より人権賞受賞
作品：『呉鳳さま - 子供に聞かせる台湾人物語』（小熊社、邦文）1975、『台湾人的歴史童話』全5巻（自立報社出版部）1991、『盧千恵文集 - 我走我的陽光道』（前衛出版社）1998、『台湾君回台湾』（東方出版社）2001、『有故事的世界人権宣言』（台湾アムネスティ支部）2002、みなみ なな著・許千恵訳（漢文）『剛達爾溫柔的光（ゴンドールのやさしい光）』（星月書房）2004、『台湾歴史童話』（玉山社）2005、『台湾は台湾人の国』（夫君許世楷氏との共著、はまの出版、邦文）2005、森喜朗著・許千恵訳（漢文）『小鴨艾力克（あひるのアレックス）』（星月書房）2005、『私のなかのよき日本 台湾駐日代表夫人の回想五十年』（草思社、邦文）2007

WHO加盟を支持する集い、参加報告

日本李登輝友の会より4月28日、白鳥会長のもとへ日台稲門会として5月6日(日)に行われた「台湾のWHO加盟を支持する集い」への協賛依頼がありました。緊急要請のため幹事会招集が不可に付き、E-mailとFAXにより幹事の意見を求めました結果、支持賛同の回答を多数得ましたので、李登輝友の会へ協賛する旨回答し、白鳥会長自らが参加されました。また、許代表夫人からも別途協力要請がありました。

なお当日の行程は次の通りでした。

アピール行進 東京中華学校 日テレ通り 新宿通り 半蔵門通り 大妻通り 東郷公園(解散)
講演会

場所：アルカディア市ヶ谷 講師：宋泉盛牧師 演題：「台湾のWHO加盟について 台湾の法理的地位と台湾人の人権」*「台湾のWHO加盟申請に関する日本政府への要請」を採択

意見交換懇親会 アルカディア市ヶ谷



本会副会長・石川公弘氏が旭日小綬章を受勲されました



内輪でお祝い 5月19日於「羽衣銀座本店」後列 神田幹事 上野幹事

前列 小野間幹事長 石川副会長 丸山幹事 白鳥会長



旭日小綬章

4月29日発表、5月10日、皇居におきまして授勲式が行われ、石川副会長ご夫妻が宮中参内の後陛下に拝謁し旭日小綬章を賜りました。まことに慶賀の極みでありまして、心よりお喜び申し上げます。なお、副会長は地方自治振興に尽力されたことにより、既に藍綬褒章を受章されております

早慶ゴルフ大会参加報告

第32回「早慶ゴルフコンペ」が6月2日(土)、台湾ゴルフクラブ(老淡水)にて開催され、日台稲門会新会員市川智さんも含め54名様が参加しました。皆さん連敗ストップを目標と臨まれたようですが、

対抗戦結果は慶応に軍配が上がりました。まことに残念な結果ではありましたが、とりあえずご苦労様でした。次回は11月3日(土)を予定されているとのこと、ご健闘を心より祈念いたします。(事務局)

会員コラム

新会員紹介

山本 賢一さん

昭和43年第一法学部卒業 勤務先：神戸簡易裁判所 民事調停委

北村 友雄さん

昭和44年法学部卒業 勤務先：横浜ゴム株式会社 ホース配管事業部海外事業G

岩永 康久さん

昭和44年法学部卒業 勤務先：台湾住友商事会社

退会会員

佐貫利雄さんより退会の申し出がありました。

台湾関連NEWS

台湾聯合國協進會 TAIUNA(The Taiwan United Nations Alliance) 東京分會成立！

2003年10月24日に、陳隆志教授、羅榮光牧師を中心に設立された台湾聯合國協進会は、台湾の国連加盟を実現させるべく全世界にアピールする支援団体です。その東京分會成立大會が2007年

9月6日に開催されます(現在、関東東京地区正式会員53名)。

台湾聯合國協進會

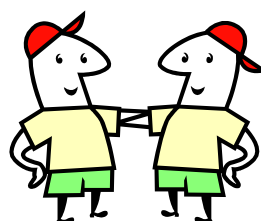
<http://www.taiwan-un-alliance.org.tw>

台湾選手へのビザ発給拒否問題で、少年野球世界大会が中止

国際野球連盟(IBAF 本部：スイス・ローザンヌ)は、17日に南米ベネズエラで開幕予定だった少年野球の世界大会「第13回世界ユース(AA)選手権(16歳以下)」の中止を決定した。ベネズエラ政府が、台湾代表チームへの入国ビザ発給を拒否したことが「理由の一つ」。IBAFは「スポーツに政治を持ち込むべきではない、連盟規約や国際オリンピック委員会の原則に反する」と強く反発している。国際スポーツ大会参加選手へのビザ発給拒

否は異例であり、急進左派であるチャベス政権の姿勢が、ビザ発給拒否になったとみられる。

ところがベネズエラ野球連盟は既に現地入りしているチームだけで、国際親善試合を実施する方針。



これは「世界ユース」の看板を外しただけの実質的な大会であり、台湾チーム排除に他ならないとの批判がある。

台湾が自動車免許の相互承認地域に

8月15日の道路交通法施行令改正案政府決定により、台湾が自動車運転免許の相互承認地域となり、台湾の運転免許証で日本での運転が可能となった。

また、日本人の台湾での運転も可能となる。施行日は9月19日の予定。腕に覚えがあり、勇気のある方はどうぞお試してください、朝の中山北路下りとか。

台湾への日本人訪問者数が増える

台湾観光協会によると、7月の日本人訪問者数は0.29%増(前年比)の8万1375人となった。1月からの累計は2.78%増の66万1995人。

一方、台湾からの日本訪問者数は8.48%減の12万8767人で、累計では2.94%増の76万4182人となっている。

§ 台湾関連新刊書籍紹介 §

『私のなかのよき日本 台湾駐日代表夫人の回想五十年』 盧千恵著 草思社¥1,600+税

(推薦文) 私達の愛するルーさんが、この度、上記のような本を出版されました。ルーさんのこの50年は、彼女の温かな優しい笑顔からは想像もできない激動の歳月でした。この本の中で彼女は日本人との交流の中で感じられた日本のよさを沢山数え上げ、喜びと感謝をもって回想されておられます。

でも私は千恵さんに言いたい! 「あなたこそ私達に多くのものを下さったのよ。台湾という国をこよなく愛し、台湾人として誇りをもって私達に誠意を尽くして付き合っ下さった」と。本の中で千恵さんは今や既に失いかけている日本人の良さを思い出させて下さっています。それはもう国を超えたものかもしれません。著書の中でいくつか引用されている詩の言が彼女の心を豊かに表しています。ぜひ書店等でご購入の上、ご一読下さいますようお願い致します。



四月十二日
五十年の友 荒瀬典子
(喜多方教会)

『台湾処分一九四五年』『早稲田細胞・一九五二年』 鈴木茂夫著 株式会社同時代社(会員推薦)

鈴木茂夫氏は旧制中学まで台湾で育ち、戦後日本

に引き上げ1954年早稲田の文学部卒業後、TBSで活躍されたひとです。台北稲門会会員にご紹介下さい。(北村友雄)

「台湾処分一九四五年」: 台湾を舞台に、1944年秋から1946年春に至る激動の1年有余の期間に起こった出来事を描いた長編セミ・ノンフィクション。当時中学生であった著者が、自身の体験を下敷きに、埋もれていた資料と証言を収録して紡ぐ。

「早稲田細胞・一九五二年」: その日「俺」は党の指令にしたがい、小河内村の原駐在所襲撃へと向かった。「血のメーデー」事件、共産党が「中核自衛隊」500隊10,000人を組織していた時代、革命幻想にとらわれた若き青年群像の中に「俺」はいたのだ。隠されてきた昭和史の空白を埋める力作。

鈴木茂夫: 1931年(昭和6年)生まれ。本籍・愛知県。船会社に勤務していた父に伴われ、日本と台湾で幼少年時代を過ごす。基隆・双葉小、大阪・五条小、台北・錦小、高雄・堀江小、高雄中学、台北四中に在学。1954年早稲田大学第一文学部ロシア文学科卒。1954年TBS(東京放送)入社。テレビニュース・チーフディレクターなど。1995年仏教大学文学部仏教学科卒。

株式会社同時代社: 〒101-0065 東京都千代田区西神田2-7-6 電話 03-3261-3149 FAX 03-3261-3237

日台稲門会ホームページ コラム・レポート
http://www.waseda.org.tw/jp/colum_rep/070712-2/index.html より転載しました

当会HPリニューアルの件 (<http://members2.jcom.home.ne.jp/nittai/>)

白鳥会長によって発足しました当会HP(ホームページ)ですが、このたび一色幹事が担当することになり、同時にリニューアルを試みました。まだ発展途上ですので、会員の皆様には是非ご覧頂き、忌

憚ないご意見を募ります。なおご意見につきましては、事務局(小野間: sigma.tno@jcom.home.ne.jp)までお願いします。

編集後記

久し振りの暑い夏、この猛暑を締めくくる熱い中華航空機炎上事故。十五年前の名古屋空港での同社機着陸事故の次の日編集子は台北に帰ったが、着陸後機内から期せずして湧きあがった安堵の拍手は忘れられない。今回は死傷者がなく不幸中の幸いだった。▼原因は事故調に任せるとして、今回気になったのはインターネットのブログに台湾と中国を同一視したものが散見されたこと。「空気汚染に有害物質に飛行機事故、すごいな中国」とか「中華航空つてずばり中国の会社」などの書き込みがあった。台湾の地位に対し未だに無理解な輩が多いことに驚く。▼確かに、「中華」航空、「チャイナ」エアラインの名称では無理もないと思う。また台湾・中国両国から「中華航空は台湾の会社」との声明も出るわけもないし、それゆえロゴとマークをペンキで塗りつぶしたのだろうか。失礼だが、台湾正名運動も日本では道半ばである。▼(財)交流協会前台北事務所長内田勝久氏が亡くなった。著書の『大丈夫か、日台関係』は必読です。最後に改めてご冥福をお祈り申し上げます。(齋藤晃)

会 合 予 告

台湾校友會訪日歓迎懇親会 (予告)

台湾校友會の有志の皆様が10月19日から23日までの予定で訪日されます。創立125周年記念式典および関連行事への参加が目的です。

つきましては本会主催の懇親会(会費制)を催したく、まだ計画段階ではありますがご案内申し上げます。日時は10月22日(月曜日)の夕方5時半ごろから約2時間、場所は上野幹事にお問い合わせください。

新年会を行いました茅場町「日本橋 稲ぎく きくもと」を仮予約してあります。今月なかばには台湾校友會訪日団の日程も確定しますので、会員の皆様には改めてご案内申し上げます。

また、この懇親会をもちまして、定例の夏・秋の行事にかえさせていただきますので、奮ってご参加賜りますようお願いいたします。(事務局)

早稲田大学台湾校友會2007年總會

董炯熙会長、劉清標大会委員長からご案内を頂きました。折角の機会でもありますので、会員の皆様には奮ってご参加頂くよう連絡申し上げます。

早稲田大学台湾校友會2007年度總會

日 時：平成19年11月24日(土)
16:30 受付及び会場見学
17:30 女子高学生才芸演出
18:00 開会式及び貴賓挨拶
19:10~21:30 夕会式

場 所：台中市明德女子高級中学校 明樓4階
費 用：校友1500元、同伴者1000元

娛樂活動

日 時：2007年11月25日(日)
Aコース 国際ゴルフにてプレイ
Bコース 観光ツアー 南投縣散策

なお、委細につきましては改めてご案内申し上げますので是非ご確認ください。

早稲田大学台湾研究所 「台湾文化週間」行事予定 テーマ 「台湾を知ろう」

開催日時10月27日(土)~11月2日(金)

台湾研究所の江正殷先生から連絡を頂きました。今回は、「台湾を知ろう」というテーマの下で、台湾映画の上映会・伝統芸能の紹介・学術シンポジウムの開催など盛り沢山の企画です。この機会を通じ、日本にとって最も身近な隣人-台湾の多面的な理解を深めましょう。

台湾研究をめぐる日台若手研究者の対話 10/27、28(土、日) 国際会議場3階第2会議室
日台友好写真展 10/27(土)~11/2(金) 学生会館 辜振甫記念アトリウム

台湾原住民文化・歌 10/31(水) 小野記念講堂
台湾映画祭 10/29、30(月、火) 小野記念講堂
10/29 午後『風を聴く~台湾・九份物語』、10/30 午前『梨園春暁-台湾歌仔劇』、午後『ぼくのフットボールの夏(奇蹟的夏天)』
台湾伝統人形劇 11/1、2(木、金) 国際コミュニケーションセンター

企画の詳細等については以下のURLをご参照下さい。

<http://www.waseda.jp/prj-taiwan/index.html>

第42回ホームカミングデー記念式典開催のお知らせ (2007稲門祭も同時開催)

【開催日】平成19年10月20日(土)【時間】10:30~12:00(開場9:30)【会場】記念会堂(戸山キャンパス)
招待される節目の校友 <卒業後50年目>昭33年卒 <45年目>昭38年卒 <35年目>昭48年卒
<25年目>昭58年卒 卒業年が異なっても同期入学 同年推薦校友

2007稲門祭

テーマ 創立125周年 キャッチコピー 拓け!ワセダ新世紀

20日(土)『校友音楽祭』、『校友講演会』、『福引抽選会』 21日(日)『校友音楽祭』、庭園での『模擬店』